

視写

今回は日課プログラムの『視写』について紹介します。

学校の授業で、板書を素早く写すことはとても大切なことです。書き写すことが苦手で時間がかかってしまうと、授業で大事な話を聞くことに集中できず、内容の理解が難しくなってしまいます。『視写』の活動を繰り返すことで、板書を素早く写す力が身につけていきます。

『視写』の活動は、2分間という制限時間の中で、お手本の文章をできるだけ速く書くプログラムです。速く正確に書くことを通して、「処理速度」の向上を目指しています。また、お手本と自分が書いている文字を交互に素早く見ながら書くことで「眼球運動」が鍛えられ、枠からはみ出さずに書くことで「注意力」や「抑制力」も鍛えることができます。速く書くためには文章を速く読むことも求められます。意味のまとまりごとに文章を書き写していくことで、読む速さや文章読解力の向上にもつながります。今年度は新しく板書視写を取り入れています。黒板のように前に書かれたお手本を見ながら書くことで、より眼球運動が鍛えられ、文章を覚えて書く力の向上も見られています！

- ・ 広島古市教室 082-877-9001
- ・ 広島五日市教室 082-943-9001
- ・ 広島田方教室 082-507-0390
- ・ 広島彩が丘教室 082-926-3906
- ・ 広島五日市児童発達支援専門教室 082-943-9001



ナデシコ（撫子） 三村 千秋

暑中、お見舞い申し上げます。お子様にとっては、4月からの新しい環境から、ホッとできる待ちに待った夏休みです。

お子様にとって夏休みは、学びが沢山あります。以前、お知らせしたライフスキルにつながる食事の手伝い、片付けも良いでしょう。創作活動、星空観察、トランプのゲームなど、余暇の過ごし方を身につけるにも良いです。家族、親戚などと楽しく過ごし、一緒に笑い、語らいながら生活に必要なスキルを身につけていきましょう。お子様は教わる内容より、楽しく過ごす大人の姿に学ぶことも大きいようです。

これらは、お子様の「認知能力」を育てることにつながります。「認知と運動」は、クォーレで意識的に育てている力であり、目で見ると耳で聞くなどの五感を中心とした感覚器からの情報を「整理」「記憶」「理解」する力です。学習としての言語などの認知能力を高めるには、基礎の感覚(視覚・聴覚・臭覚・触覚・味覚)、平衡感覚(バランスなど)、手足の位置を感じる感覚を高めることが土台となるのです。

直接的な学習以外の経験を積んでいく中で大切なことは、楽しく経験させること、得意をトレーニングし不得意や苦手をサポートして育てる大人の姿勢です。

お知らせ

クォーレプレミオが設立され新体制となりました。
教室はHPをご覧ください。

クォーレのことをさらに詳しく、
ブログ随時更新中！

クォーレ ブログ

検索

